



客殿完成

落慶式 九月四日

落慶法要 十一時より 於当山本堂
落成工事並びに客殿建設工事中は檀信徒及び墓苑使用の皆様には、何かとご不便をお掛け致しましたが、お陰様で、客殿も完成し、既に、ご案内の通り九月四日に落慶式を迎えることになりました。

この度の客殿は檀信徒及び墓苑使用者の施設ですので、皆様に参列して戴きやすい日程を設定すべきでしたが、この度の客殿の建設は、宗租日蓮聖人立教開宗七五〇年慶讃事業並びに当山第二十五世日常の仏さまへの供養やお墓参りに、お線香が使われます。お経の中では華

香・瓔珞・抹香・塗香・焼香・總蓋・幢幡・衣服。妓樂の十種類のお供えもので仏と僧に供養する事の大切さを説いています。この様に香は大切な供養とされ、その種類は香を水にといて香水、口に含んで含香、火に焚いて焼香体に塗る塗香、一般に使用される線香の五種があるとされます。その中でも日常の供養には焼香と線香が用いられます。焼香に用いられる細かくぎざまれたお香は伽羅、沈香・白檀・丁子・龍腦の五種類のものを混ぜ合わせてあるので

一般に五種香ともいいます。葬儀や法事の時には、この五種香が広く使われています。中でも最高級のもので、現在では入手が大変難しく、金一匁(三・七グラム)と伽羅は同値とされています。もともと五種香は大変よい香りのするものですが、よく選ばないで焚くとよい香りのご供養どころか、ただけむいだけの不快な気分になってしまいます。線香にも墓参用・儀式用・仏壇用・蚊取り用等いろいろあります。墓参用のものは杉の葉の粉末を主な原料として作られ、煙が多く墓参の雰囲気を作り出します。儀式用のは伽羅・沈香・白檀など二十種ほどの香の粉末をすずや染料で色づけし、一定の形にして乾燥させて作るのので、大変香りがよいものが多い。参禅は、一本の線香のとほる時間をひと区切りとし行います。

檀信徒の皆様から出席したかったけれど、仕事の関係でやむなく欠席とのお葉書を多数戴きました。その方々には心からお詫びし、墓参り折りにでも見学して戴ければ幸いです。落慶式に参列戴ける方にお願ひですが、当日は、駐車場の確保が難しいので、お車でのお参りはご遠慮下さい。又、落慶法要は本堂で行いますが、参列者が多数で、本堂に入場しきれませんが、そこで、檀家・信徒・墓苑使用者の方々に大変申し訳ありませんが、本堂前のテント内椅子席にての法要の参列をお願い致します。祝宴会場は立食ですが、模擬店なども用意し、楽しく会食ができるよう配慮してあります。なにごん不行き届きの点があると思いますが、祝ひの席という事でお許し戴ければ幸いです。

客殿説明会報告

七月四日(土) 於当山本堂

延上人第七回忌の供養のために行った事業であり、客殿の落慶をご宝前に報告する式典でもあります。従って、当山の落慶式には宗門から多数のお上人を来賓としてお招きし、挙行致します。寺院招待の関係で、彼岸前の友引で宗門の役職の方の出席可能な日を選ぶ必要があります。九月四日に決定させて頂きました。

檀信徒の皆様から出席したかったけれど、仕事の関係でやむなく欠席とのお葉書を多数戴きました。その方々には心からお詫びし、墓参り折りにでも見学して戴ければ幸いです。落慶式に参列戴ける方にお願ひですが、当日は、駐車場の確保が難しいので、お車でのお参りはご遠慮下さい。又、落慶法要は本堂で行いますが、参列者が多数で、本堂に入場しきれませんが、そこで、檀家・信徒・墓苑使用者の方々に大変申し訳ありませんが、本堂前のテント内椅子席にての法要の参列をお願い致します。祝宴会場は立食ですが、模擬店なども用意し、楽しく会食ができるよう配慮してあります。なにごん不行き届きの点があると思いますが、祝ひの席という事でお許し戴ければ幸いです。

説明会の要旨は次の通りです。
1、平成二年八月住職就任当初は、お檀家の皆様の墓参りが易いよう整備充実に力を入れ、本堂天井張り替え・本堂冷暖房完備
客殿改装・山門新築・墓地参道整備・水屋二箇所設置・石垣工事・植栽等を行ってき
た。その後、檀家数の増加に伴い従来の施設では対応できなくなり、先ず、休憩所・東屋をつくり気持ちよく墓参りができるよう整備をしながら、造成工事及び客殿の事業計画を責任役員及び総代会にはかり進めてきた事。

2、宗教法人宝清寺は包括法人で、諸事業については責任役員会にはかり西部宗務所を通じて、宗務院の許可を受けて諸事業を実施している事。
3、任意寄付により鐘樓建設を計画しましたが、建築の見積り額の半分にあたる約二千万しか協力が得られず、建設を断念し、本堂前御影石の参道工事に変更した事。

お知らせ

九月十二日は日蓮聖人、竜の口の法難に当たります。当山では、当日、お題目講の方々と供養し、法要終了後、おはぎを食べながら、日蓮聖人を偲んでおります。

秋のお彼岸

九月二十日(二十)は秋のお彼岸です。墓参し先祖の霊をお慰め致します。尚、お塔婆の申し込みは早めに行います。

お盆

十月十二日は日蓮聖人が亡くなられた命日にあたる、お盆です。お盆式については、後日葉書にてご案内致します。

4、客殿の概要は一階部分は第一ホール・第二ホール・十二畳和室・四、五畳の和室・配膳給湯室・トイレ等、二階部分は第一和室・第二和室・配膳給湯室・トイレ等の配置になっています。
5、この度の客殿は檀家数の増加による施設の充実であり、当山に縁のある方々の要望に沿えるよう建設したものです。従って、新客殿は檀信徒及び墓苑使用者を中心の使用を考えていますが、当山は、日蓮聖人の命日に当たるお盆式の行事を毎年行っており、その行事には昔から宗派を超えて地元の方々の多くが参拝に來られる寺でもあります。その意味では地域の方々のご理解とご支援に支えられている寺でもありますので、この客殿は地域の皆様にも広くご利用戴ける施設として開放したいと考えている事。

以上が説明会で話した要点です。説明終了後、参加者から二・三質問があったが、説明しご理解が戴けた。説明会終了後、建設途中の客殿を見学、参加された方は施設の素晴らしさに驚かれた様子でしばらく時間を過ぎて解散した。